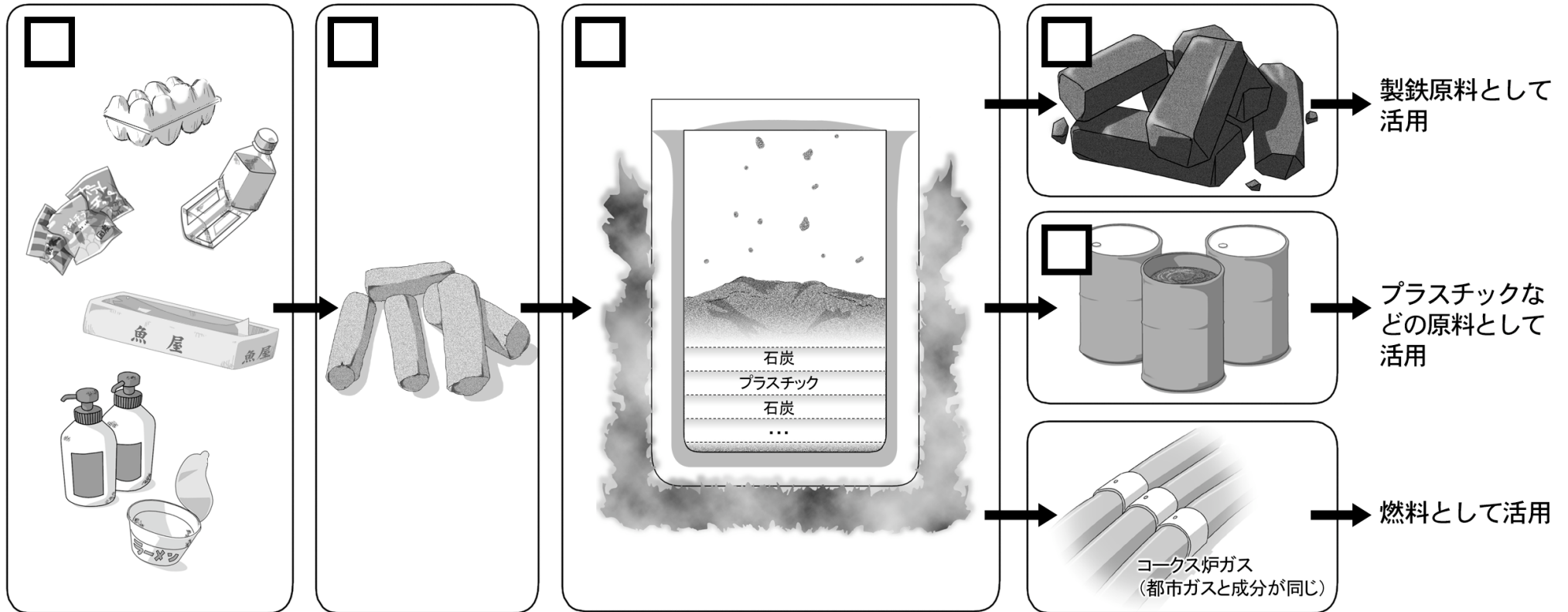


ケミカルリサイクル 製鉄原料 2 コークス炉化学原料化

鉄を作るにはコークスが必要です。下の図はコークス炉化学原料化の流れです。
イラストの上にある四角の中に、あてはまると思う下の説明文の番号を入れてください。

※コークスとは、石炭を熱分解し揮発分を取り除いたもので、製鉄の還元剤や燃料として使われる。コークス炉化学原料化とは、コークス炉に石炭と使用済みプラスチックを入れ、コークスを作る方法。



1
使用済みプラスチックを熱分解すると、全体の20%程度がコークスといっしょに回収される。コークスは、製鉄原料として活用される。

2
集められた使用済みプラスチックを減容・筒状に成形する。

3
ボトルやパックなどの硬質系からラップやお菓子の袋など、ほとんどのプラスチックが原料となる。

4
コークス炉からは軽質油やタールも回収される（全体の40%程度）。回収された油分はプラスチックなどの原料として活用される。

5
筒状のプラスチックと石炭を無酸素状態のコークス炉に投入し、最高1,200℃で約20時間加熱すると、熱分解されコークスや油分、ガスなどになる。

年	組	名前
---	---	----